貧困のない、
誰もが活き活きと
生きられる社会へ

一般社団法人 グラミン日本
第4期 事業報告書

GRAMEEN
NIPPON

contents

P2　グラミン日本が目指す社会

P3－4　グラミン日本が考える、「貧困問題」への取り組み

P5－6　互助グループを支えるコレクティブインパクトによる自立支援

《融資事業》

P7－8　マイクロファイナンスについて

P9－10　起業者の声

《支援活動》

P11　グラミン日本へのご支援について

P12　［連携］・明治大学のゼミでのソーシャルビジネスプログラム

P13　・船橋市での取り組み

P14　・みんな電力×グラミン日本による「グラミンでんき」

P15　・「のわみ相談所」および「NPO法人わっぱの会」と共同で起業・就労支援活動を実施（愛知県）

P16　・コロナ禍で困窮する若者・ひとり親の経済的自立支援の強化へREADYFORでのクラウドファンディングを開始

P17－18　［資金］　資金面での支援について

P19－20　支援者・支援企業一覧

P21－24　［参加］　サポーターの声

P25－26　企業プロボノの声

P27　第4期（2020年9月期）財務状況

P28　メディア掲載情報

P29　沿　革

P30　会社概要

P31－32　グラミンとは？

P33　理事長ごあいさつ

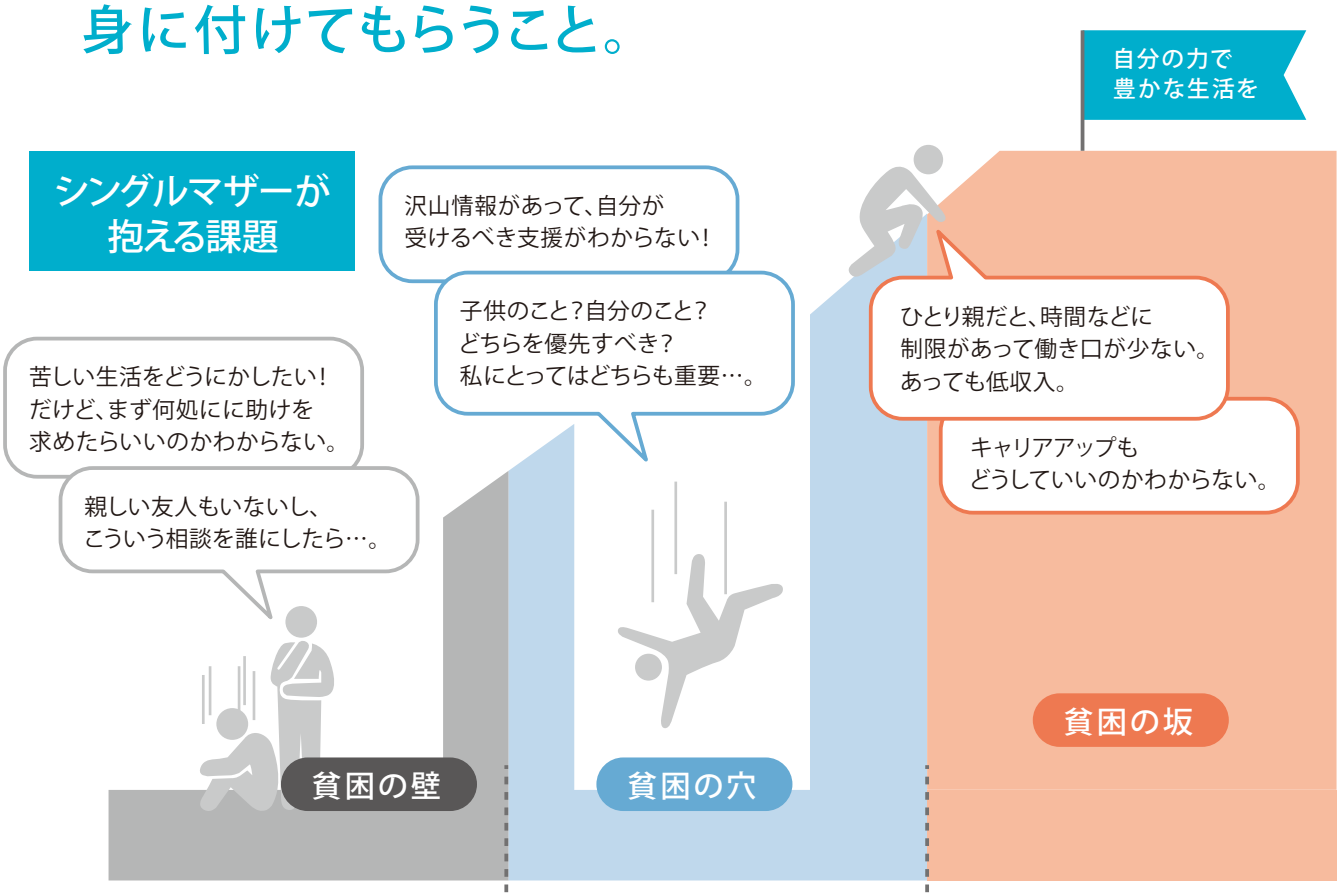
私たちは、働く場所があるということが真の意味で人を貧しさから救う、
そして融資資金はそのための種（シード）になると考えています。
グラミン日本は、開発途上国のみならず、
欧米先進国でも貧困削減に効果を発揮しているグラミン銀行の日本版で、
日本の実態にあった方法で運営しています。
貧困のない、誰もが活き活きと生きられる社会をつくりたい、それが私たちの想いです。

グラミン日本が目指す社会

1. 貧困・生活困窮に陥った時、そこから脱却する助けがセーフティネット／ソフトインフラとして整備されている社会
2. 生業的な起業（プチ起業/小商い）が普通にできる社会
3. Job Seekerより Job Creatorが活躍できる社会
4. 地域・コミュニティがお互いに助け合い、共感のある社会
5. ユヌス・ソーシャルビジネス7原則（*）が実践される社会
6. 会社が、株主だけでなく経営者、社員、取引先、顧客、地域・コミュニティなど全ステークホルダーに貢献する社会

グラミン日本が考える、「貧困問題」への取り組み。

単なる「お金の支援」ではなく、大切なことは、貧困から「持続的」に抜けだす力を身に付けてもらうこと。



1 孤立する困窮者

- 申請主義な社会保障の中、助けが必要な人ほど孤立
- 孤立がすべての芽を摘み、更なる困窮の連鎖に
- 特にひとり親家庭や非正規職の若者の困窮がコロナで加速

2 分断された支援

- 行政・企業・NPO等がそれぞれの目標にわれ連携不足
- 当事者に寄り添った包括的・継続的支援が不十分

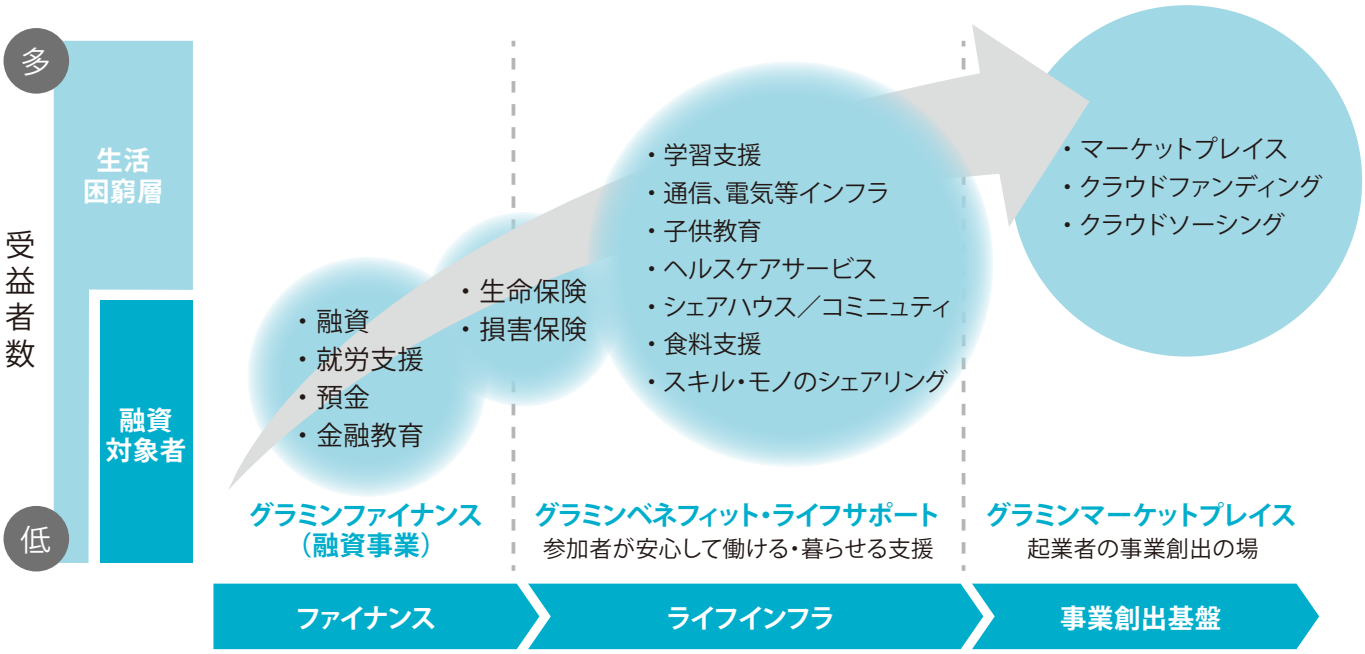
3 限定された就労機会

- 本人の強みや意向にマッチする就労機会が乏しく定着しない
- キャリアアップに向けた訓練も少なく低所得から抜け出せない

ワンストップで「自力」をサポート！
それが、グラミン日本の目指す支援。

グラミン日本が描くエコシステム

［ロードマップ］



グラミン日本の提供価値の進化

互助グループを支える コレクティブインパクト※1による 自立支援。

課題

マイクロファイナンス※2をフックに、5人一組の互助グループを形成し、
金融教育や社会的資本の補完に向けた当事者コミュニティを形成・維持

マイクロファイナンス
5人1組の互助グループ
形成を通じた金銭的・
社会的資本の付与・金融教育

デジタル関連のスキルアップトレーニングや、
就労に向けたマッチングシステムを活用したキャリアアップの実現

直接支援

カウンセリング
裨益者に寄り添った面談・コミュニティ形成

トレーニング
次世代を見据えたデジタル関連訓練

マッチング
グラミン日本ならではの、強みを活かせる多様な就労機会の提供

ビッグデータを活用したインパクトの分析・評価やデータに基づく
アドボカシー（世論形成）、ソーシャルインパクトボンド※3組成等を行い、直接支援を強化

間接支援

指標の測定と効果の評価
ビッグデータやAIを活用した互助グループ・支援エコシステムの分析・改善

情報発信と世論喚起
マルチメディアを活用したコレクティブインパクトに向けたシステム全体との対話

ソーシャルビジネスに適した資金調達
ソーシャルインパクトボンドなどを活用した成果重視かつ持続可能な財源確保

※1 企業とNPO、行政などが共通の目標を設定し連携して課題解決に当たるアプローチのこと
※2 貧困や生活困窮の状態にある方々に低利・無担保で少額の融資を行うこと。
※3 民間団体が投資家から調達した資金をもとに公共サービスを提供し、その成果に応じて政府や自治体から報酬が支払われて投資収益に反映されるスキームのこと

マイクロファイナンス

目 的	活動内容	協業パートナー
● 互助グループ形成による孤立化の防止 ● 金融サービスへのアクセス機会の改善	□ マイクロファイナンスをフックに、5人1組の互助グループを形成し社会的資本を補完 □ お金の使い方や起業に向けた金融教育も提供 □ 互助グループの繋がりにより、行政やNPOの支援から漏れてしまう困窮者にもリーチ □ 互助グループを超えて裨益者同士が繋がり、相互に支え合えるコミュニティにも発展	**SMBC日興証券株式会社** 金融包摂の強化 **Septeni Japan株式会社** SNSを通じた裨益者との コミュニケーション強化 **アクセンチュア株式会社** チャットボット等を活用した裨益者との コミュニケーション強化

マッチング
トレーニング
カウンセリング

マッチングプラットフォームを活用したキャリアップを、
ワンストップで実現していく

目 的	活動内容	協業パートナー
● 自己肯定感・効力感の向上 ● スキルアップによる起業・就労機会の拡大 ● 仕事の定着・所得の向上	□ 裨益者の強みや意向に沿った多様な働き方の提供と人材マッチング支援	**デロイトトーマツコンサルティング合同会社** RPA*1等のデジタル関連 トレーニングの設計 **SAPジャパン株式会社** 人財マッチングプラットフォームの提供 （SAP Fieldglass） **ランサーズ** 人財マッチングプラットフォームの提供 （SAP Fieldglass）

＊1：Robotic Process Automation（業務自動化ソフトウェア）の略。

指標の測定と効果の評価
情報発信と世論喚起
インパクト重視の資金調達

目 的	活動内容	協業パートナー
● 進捗・成果の見える化 ● 強固な地域エコシステムの構築 ● 持続可能な財源確保	□ 人財マッチングプラットフォーム上に蓄積された互助グループや支援エコシステムのデータを基に、進捗・成果をモニタリング・評価 □ データを基に困窮者の自立に向けたNPOや企業、自治体等の対話の場を設け、地域の多様な働き方に対するメンタルモデルの変容を促進 □ ソーシャルインパクトボンドなどを通じて、成果重視のマルチセクター連携を強化し、持続可能な財源を確保 ※休眠預金資金を活用し支援プログラムを構築し、それらを基に行政とSIBの成功事例も事業期間内に創出を企図	**SAPジャパン株式会社** ビッグデータの基盤構築・ AIを用いたアナリティクス **PwC** コレクティブインパクトの牽引 **デロイトトーマツコンサルティング合同会社** ソーシャルインパクトボンドの 組成・インパクト評価

《融資事業》
マイクロファイナンスについて

生活が困窮している状態では、今を生きることに焦点があたるあまり、
将来の生活向上につながる行動が不十分となりがちです。
既存の支援制度も当面の生活支援に主眼が置かれ、
自立支援の取り組みも十分には行き届いていないのが現状です。

マイクロファイナンスとは

貧困や生活困窮の状態にある方々に低利・無担保で少額の融資を行い、
こうした方々が起業や就労によって貧困や生活困窮から脱却し自立するのを支援します。

支援の流れ

グラミン日本では、働く意欲はあっても今はお金がない方々に、
自立のための**少額の融資と就労機会・起業支援をワンストップ**で提供いたします。

1 問い合わせ・説明会予約
「お申込みフォーム」より、説明会の予約

2 説明会参加
グラミンのプログラム説明・意見交換

3 グループ形成（仮申込）
5人一組の互助グループを形成／仮申込の実地

4 金融トレーニング（5日間）
グラミンのルール・金融知識を取得

5 家庭訪問
グラミンスタッフがご家庭を訪問

6 認証式（預金口座開設）
インタビュー形式でテストし、認証→預金口座開設

7 【センター・ミーティング】借入申込・承認
借入内容を検討、協議、申請

8 【センター・ミーティング】融資実行
融資の実行
※内容によっては、再協議

9 【センター・ミーティング】資金使途の確認
資金の利用状況を相互に確認

10 【センター・ミーティング】返済・フォローアップ
返済開始、貯蓄、事業の相談など

11 就労機会・起業支援
就労先の紹介、経営サポート

メンバーとなる条件

- **現在の収入が一定ライン（※）以下の方**
  ※生活保護基準の1.8倍以内が目安。地域や世帯構成によって異なります。
- **5人一組のグループで互いに信頼しあい、助け合うことができる方**
  5人一組の互助グループは、グラミン・メンバーの基本単位です。互いに監視することが目的ではなく、信頼関係に基づいて仲間が一緒に支えあって頑張っていくコミュニティです。
- **規律を守れる方。センターミーティング（5人一組のグループの会合）に参加できる方**

プチ起業を目指す方へのワークショップ

グラミン日本では、アクセンチュア、SMBC日興証券と共に、
プチ起業を目指す方向けの起業を目指す方へのワークショップを企画・実施しました。
ワークショップは**「Step0：説明会」**をはじめ、**「Step1：自身について知る」**、**「Step2：起業アイディアを形に」**
「Step3：開業準備をしよう」という4段階の構成となっており、
これらのワークを通して、参加者がゼロから夢・事業アイディアを
具体化していくまでのサポートを行っていきます。

	STEP 0 説明会	STEP 1 自身について知る	STEP 2 起業アイディアを形に	STEP 3 開業準備をしよう
	・グラミンや起業に対して少しでも興味・関心がある	・"今"を変える何かのきっかけを求めている ・子育てとの両立、将来のお金など不安がある ・働き方・方向性が分からず踏み出せない	・起業したいという想いはあるものの、進むノウハウが分からず立ち止まっている ・ビジネス経験の少なさゆえの、情報・知識・人脈不足	・事業コンセプトはあるが、そのために必要な準備が具体的にわからない ・最後の一歩が踏み出せない
必要なコンテンツ	グラミン日本について	人生曲線 価値観/動機/持ち味を棚卸	WHO/顧客ターゲット ペルソナを作成	事業アイディアの紹介 仲間との共通点を探る
	ワークショップの概要	MY ASPIRATION 志/信念/専門性/共感	WHAT/商品づくり 何を売るか(ﾓﾉ・ｽｷﾙ・ﾉｳﾊｳ・場)	開業計画 プチ起業開始までの計画
		家計シミュレーション 未来に必要なお金を知る	WHY/ブランディング 価値化、ネーミング、値付け	開業スケジュール 直近3か月のスケジュール
			HOW/宣伝方法 ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ(ﾃﾞｼﾞﾀﾙ/ｱﾅﾛｸﾞ)	
			HOW TO/できるのか 事業の実現可能性	
			HOW MUCH/いくら 必要な資金/売上計画	
学習後の目標	・ワークショップの目的と概要の理解	・自己理解の明確化 ・自己肯定感の向上 ・起業したい想いを強化	・事業コンセプトの明確化	・5人一組の形成 ・開業プランの明確化

起業開始（五人組・融資開始）

《融資事業》起業者の声

〝働き続ける〟という選択がある

せやさん　55歳

仕事・老後・将来の事など不安がたくさんあり日本シングルマザー支援協会に相談した際、グラミン日本を紹介されました。
これまでは、個人事業主といえどお金のことはまるっきり苦手で向き合ってきませんでしたが、グラミンの金融教育を通じてお金の大切さや学べる楽しさを知りました。周囲からのフィードバックや評価で自信もつき、スキルの掘り起こしにもつながりました。参加するごとに気持ちも成長して、自分で判断する力が身に付きました。
自信を持つ。自分のこれからする事に信念を持つ。これが、今の私が大切にしている価値観です。この機会がなかったら、私は埋もれたままでした。引き上げてくれて、ありがとうございます。

美容と健康関連の仕事に長年携わってきました。現在は幹細胞・プラセンタ化粧品のオリジナルブランドの販売とヘッドリラクゼーションを取り扱っています。自分でも簡単に癒しができる「おでこセラピー」も手がけようと考えています。

一緒に考えてくれる人がいる安心感

遠藤 ひろみさん　46歳

個人事業主としてイラストを描く仕事をしていましたが、何年もやっているのに利益が出ていない働き方でした。離婚が決まり、イラスト事業では食べていけないのではとシングルマザー支援協会に相談したところ、グラミン日本への参加を勧めていただきました。
グラミン日本のイベントに参加して金融トレーニングや事業運営について勉強しているうちに、自分でも出来るんじゃないかと勇気が湧いてきて、自然とメンバーになっていました。一人になるとくじけそうな時もありますが、励まし合える仲間と、相談できるミーティングの場が心強いです。
グラミンの活動は私自身が変わるきかけになり、本当にありがたいと思っています。自分の事業が形になるようにまだまだ頑張ります。
亡くなった時に飾るご遺影のイラストサービス「遺し絵」をしています。
イラストを提供するというよりも、見る人の心が癒されることに重きを置いた“イラストのセラピー”です。遺影の写真を飾るのは、故人の顔を悲しくて辛くて見ることができないというご家族の方から似顔絵を描いてほしいという依頼で始めました。
ご遺族の方は、故人の方をイラストにすることで柔らかい印象で向き合うことが出来ますし、終活中の方は自分の似顔絵と向き合うことでモチベーションが上がり自己肯定感を高めてもらうことが出来ます。

偏見のない環境だから進むことができた

Nさん 41歳

以前からユヌスさんやグラミン銀行の存在は知っており興味がありました。子供を産みシングルマザーになってからは、起業塾や経営セミナーのような場所に行くことすら怖くなり、シングルマザーの起業など理解されなかった事もあり諦めていました。
そんな時、日本シングルマザー支援協会経由でグラミンが日本にもあることを知り感激し、サポートを受けたいと思いました。子供連れでの参加もむしろ歓迎され、他のお子さんが面倒を見てくれたりして私も集中して参加することが出来、こんな場があるんだと嬉しくなりました。メンバー同士で自分にはない知識やアイデアを出し合え、子育てや仕事などでメンタル不調になった時も、励まし合えているので、みんなに出会えて良かったです。
シングルマザーでも、このような機会に出会えた事、恵まれた事、感謝しております。
外国の方向けに、日本の伝統着物である色打掛の販売・着付け・写真・ビデオ撮影などを提供しています。

良い意味で現実を見ました

金子 龍太さん 21歳

私は2019年の夏に起業を決意したときに、やりたいことは決まっていても何をしていいかまったくわからず、何度もとん挫していた時にグラミン日本に出会いました。
実際にグラミン日本の研修に参加すると、どうプロダクトや事業を磨いていくのかに視点を置いて利益度外視で親身になって相談に乗ってくださりました。単なるノウハウではなく、実務ベースで多くのことを学べ、良い意味で現実を見ました。
現在は「OSUSOWAKE」という親から子に規格外野菜を安価で仕送るサービスを立ち上げ中で、4人の仲間と事業の準備を進めています。
夢を追う人は周りから否定されることもあると思いますが、夢を実現するために、グラミン日本の活動に飛び込んでみてもいいと思います！

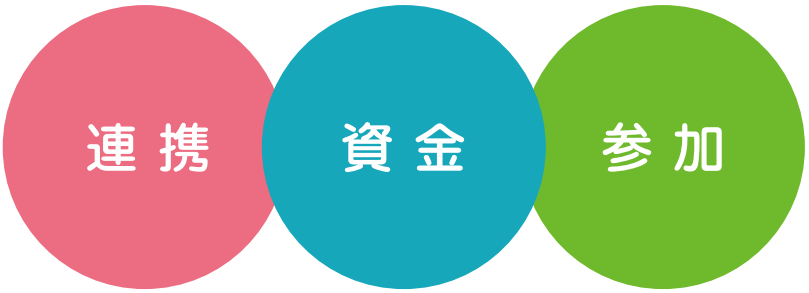
仲間との出逢いが、頑張れる源に

岡 春翔さん 20歳

やりたいビジネスがあっても何から始めればいいかわからない状況で、グラミン日本の皆さんは知識を教えてくれるだけでなく、ついた知識をより実践的に使う方法を教えてくださいました。グラミン日本の研修に参加して一番感じたのは、自分のやりたいことを認め、リスペクトしてくれ、決して否定しない人たちがいるということでした。そんな仲間と出会えたことがすごく嬉しいですし、私が頑張れる源になっています！
現在は「AIOON」という環境に配慮したオーガニックコットン素材のファッションブランドを立ち上げ中です。今の私ができるのは、グラミン日本の本気のサポートに本気で応えて進むことだと思っています！

《支援活動》
グラミン日本へのご支援について

グラミン日本の3方向への支援活動



連携する

生活困窮者や子供の貧困などの状況を把握し支援をされている団体や自治体と情報共有し、企業のノウハウやリソースも活用しながら、グラミン日本を触媒としてコレクティブインパクトのアプローチで問題解決に向けて真摯に向き合い、より効果的な実施を実現したいと考えています。

目指す姿

支援企業等との連携による生活困窮者の自立支援を持続させる仕組みの構築

			会員のニーズ		グラミンの貢献
新規事業創出	A ソーシャルビジネス協創		SDGsのトレンドも踏まえ 新規事業を創出し、貧困層の活躍機会を拡大したい	▶	現場ニーズの把握、NPO や SDGs に関心のある企業等多様なパートナーとの連携推進
既存事業強化	B インクルージョン&ダイバーシティ促進	ダイバーシティ人材提供	人材不足の領域を活用して、多様な人材に 労働機会を提供したい	▶	グラミンプログラムへの参加者を労働者として派遣
		I&D推進人材育成	自社社員にダイバーシティ&インクルージョンを経験させたい	▶	融資事業・ソーシャルビジネス実践の場を通じた人材育成機会の提供
	C SDGs 対応ブランド強化		貧困問題解決に通ずる価値観・自社理念を発信したい	▶	ノーベル平和賞受賞等により貧困脱却の分野でトップの知名度を持つブランドの活用

明治大学のゼミでのソーシャルビジネスプログラム

グラミン日本は明治大学の小川ゼミナールと協力し、約4カ月にわたり、ソーシャル・ビジネス・プログラムとして貧困の実態調査およびグラミン日本の事業戦略立案を実施しました。本プログラムには明治大学小川ゼミナールの学生のみなさんが参加し、このプログラムを通して学生の方々はゼミナールで得たマーケティングの知識や手法を実践に移す機会を得ることができました。

主な活動内容は、

- **グラミン日本の下調べ**
- **貧困の実態調査から当事者である貧困層へのヒアリング**
- **支援ターゲットとなる人材のペルソナ策定およびペルソナ別の事業施策を立案**
- **グラミン日本理事長の百野への最終プレゼン**

初期調査では2000万人と言われている日本の貧困層の内訳を明らかにするためにリサーチを実施し、当事者へのヒアリングではNPO団体主催の学会に参加したり、貧困層支援団体での当事者へのインタビューを実施。ヒアリング後はインタビューや実態調査の結果をもとに、支援ターゲットとなる5つのペルソナを策定しました。最終的にはペルソナ毎に最適な事業支援内容を立案し、事業展開ロードマップを策定した上で理事長の百野にプレゼンを行ったという学生のみなさん。小川ゼミ独自の視点で日本の貧困問題の構造を考察することができたことと、ヒアリング・調査⇒課題抽出⇒ペルソナ策定⇒事業戦略立案⇒プレゼンという、一連のマーケティング手法を実践の場で活用することができたのは大きな成果だったと話されていました。

ゼミのメンバーである折戸さんは「グラミン日本様とのプロジェクトを通じて、貧困に対する意識の変化、企画やプロジェクトの進め方を把握する足掛かりを作る事が出来たと考えています」と話されており、「正直自分は一般的な「貧困」とは遠いところで生活をしてきました。いつもニュースや論文などで貧困について問題提起が為されても、なんとなく他人事の様な気がしていました。しかしプロジェクトを進める中で「貧困」と一口に言っても捉え方は様々で、更に様々な方にヒアリングを行う中で、貧困は身近に存在している事を実感し、より当事者意識を持って問題意識を持つ事ができる様になったと考えています」と本プログラムを振り返っています。

グラミン日本は今後も教育現場と連携しながら、ソーシャル・ビジネスに若者が触れる機会を創出することに力を入れていきます。

船橋市での取り組み

グラミン日本は、船橋市と共にシングルマザーや若年者の生活困窮などを解決していくための仕組みづくりを検討しています。具体的には、市場カフェをはじめとした市内の「場」を活用してコミュニティの中に埋れている「課題」を洗い出し、グラミン日本が提供する金融教育のワークショップと掛け合わせて地域が抱える課題を解決する仕組みを構築していきます。
このワークショップは定期的に開催することを予定しており、金融教育に関連する資料もグラミン日本が貸し出すことで船橋市内でも起業家を教育者として育てていく取り組みも並行して実施していくことを検討しています。
グラミン日本と共に船橋市での取り組みをリードする山崎さんは「グラミン日本のプログラムでは基礎的なことを丁寧に教えてくれるので『これから何かを始めたいのかわからない』や、『何から手をつけていいのかわからない』という人にとっては有効なプログラムだと感じている」と話されています。
山崎さんは13年間船橋市内でタウン誌とローカルニュースの編集を担当されてきたご経験があり「街にある『貧困』についての実態を何度も目にしてきた」と話されています。また「そうしたものは課題として解決していくと同時に、誰かの事業を生み出していく事と並行・連動していかなければダムに開いた穴のようになる。次々にいろいろな原因で貧困が生まれますが、その多くが「知らないから」という原因であることが多いように思います。だからこそ、ワークショップを通して起業家教育を提供し、事業を作ること、お金について知ること、働くということについて地方の市民が学ぶ機会があれば、地域レベルをあげることができ、ひいては日本も変わっていくと信じています。」と力強く語られていました。
グラミン日本は大都会だけでなく、地域での活動にも力を入れており、これまで以上にワクワクする新しい世界を創るという強い使命感を抱きながら経済的自立に向けて苦しんでいる状況にある人に、これからも寄り添った支援をしていきます。

みんな電力×グラミン日本による「グラミンでんき」

生活に困っている方へ

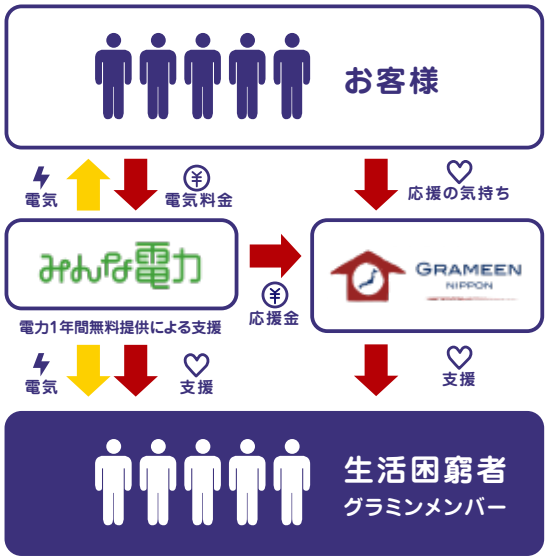
電気代の心配することなく、新しいチャレンジへ

自立への足掛かりの一つとして、グラミン日本の
支援対象者（グラミン・メンバー）の
1年間の電気代を、みんな電力が無料にします。

支えたい方へ

電気を切り替えることで、生活に困っている方を支援

ご自宅の電気を「グラミンでんき」に切り替える
お手続きだけで、電気代のうち毎月100円をみんな電力から
グラミン日本にお届けします。これにより手間なく
継続的にグラミン日本をご支援いただけます。



「誰もが電気をつくって売ることができたら、富の分散につながり、貧困の解消にもつながる」という思いをもとに創業したみんな電力と、グラミン日本が持つ「貧困の解消」という共通の理念を実現するために、両者の事業を掛け合わせたソーシャル・ビジネス「グラミンでんき」をリリースしました。

「グラミンでんき」概要

1 応援の気持ちを毎月100円寄付で形に

自宅の電気を「グラミンでんき」に切り替えることで、毎月の電気料金から100円を、
生活困窮者に低金利・無担保で少額融資を行うグラミン日本に寄付できます。
生活が苦しい方たちの自立を応援する気持ちを、簡単かつ継続的な方法で形にすることができます。

**2 生活困窮者としてグラミン日本の支援プログラムを受け、
さらに自宅の電気を「グラミンでんき」に切り替えた方は、電気料金が1年間無料になります。**

電気料金の心配をすることなく、起業や就労の準備に打ち込むことができます。
またグラミン日本の支援を通じて経済的自立を実現した方は、「グラミンでんき」を継続して
利用いただくことで、今度は生活困窮者の支援をする側として毎月100円寄付を行うことができます。

3 供給されるのは再エネ由来の電力

1. 2. のいずれの場合も、「グラミンでんき」契約者はFIT電気＋再エネ比率75%の「スタンダードプラン」
または再エネ比率100%の「プレミアム100プラン」から契約プランを選ぶことができます。
グラミン日本の取り組みに関わりながら、みんな電力の強みである再エネ電力を利用することで
気候変動の要因といわれるCO_2の削減に貢献することができます。

グラミンでんきは生活困窮者を支援しつつ、CO_2削減にも皆で貢献し、実際にグラミン日本の融資対象になっている方は電気代が無料になるという画期的なビジネスモデルです。今後もグラミン日本はこのようなソーシャル・ビジネスを様々な企業と連携しながら仕掛けていくことを検討しており、みなさまのご支援がその共創を可能にします。

「のわみ相談所」および「NPO法人わっぱの会」と共同で起業・就労支援活動を実施（愛知県）

生活資金を提供する「ソーネ基金」は、「のわみ相談所」や「わっぱの会」等、様々な個人・団体と共に設立されたもので、就労・起業のための融資するグラミンローンとの相乗効果が見込まれるため、起業に向けてのワークショップを共同で開催しました。
「グラミン懇親会」と呼ばれているこのワークショップは、のわみ相談所の協力のもと選ばれた5人グループの融資候補者の方々向けに実施されており、それぞれの夢を実現する上で必要なスキルやノウハウを学ぶコンテンツとなっています。一時コロナの影響で中止となっていましたが、7月よりワークショップの運営が再開され、9月に実施された「プチ起業ワークショップ」では各参加者の人生の曲線、Ethos/Pathos/Logosを発表し、フィードバックを受けるというセッションを実施したところ、「メンバー間での大きな発見や共感が生まれ、一つの転機になった」とグラミン日本の名古屋拠点での地域事業をリードする関野さんは話しています。

各メンバーはグラミンローンを通して自営業での運転資金、就労のための資格取得を目指しており、起業ワークショップは、融資に向けた事業計画書作成において、他メンバーとの議論を重ねて内容を深掘りする場となっています。
また、NPO法人わっぱの会と共に取り組む事業立ち上げ支援は障がい者の方を対象とする予定で、融資候補者選定に向けて5人一組の互助グループ結成に向けた課題克服のための話し合いが行われる予定です。
関野さんは「生活困窮者は新型コロナウイルス感染拡大の影響で増加基調にあります。今後は愛知県内で体制を整備して連携団体を増やし、グラミン日本で少しでも多くの困窮者を支援すべく、活動を続けていこうと思っています」と話されています。新型コロナウィルスの影響で先に見えない状況になっている今だからこそ、マイクロファイナンスが必要とされています。

コロナ禍で困窮する若者・ひとり親の支援強化に向け、READYFORでのクラウドファンディングを開始

グラミン日本はコロナの影響に苦しむ方々に寄り添うプロジェクトとして、日本初・国内最大のクラウドファンディングサービス「READYFOR」で、「グラミン日本 コロナで困窮する若者・ひとり親の未来を守る。」のクラウドファンディングを開始しました。2020年8月14日（金）より11月11日（水）まで、1,000万円を目標に寄附を募りました。

いただいた支援金により

1 求職者と求人企業の人材マッチング

2 マイクロファイナンスの融資原資

3 起業ワークショップの開催

を実施します。

実施の背景として、新型コロナの影響により、若者やひとり親を中心に多くの方々が職を失い、苦しんでいるという背景がありました。

－会社が派遣切りを行い、契約を切られた。新たな就職先が見つからず、日々の生活にも困っている。（派遣社員・28歳）
－就活を始めた矢先にコロナのために、前途をふさがれた、何社にコンタクトしても採用されない。アルバイトも解雇された。（学生・20歳）
－会社から解雇され、子どもを抱えて途方に暮れている。（シングルマザー・32歳）

グラミン日本は、「わたしたちの未来への先行投資」をスローガンに掲げ、多くの企業、個人のボランティア・プロボノの専門家などのご支援を受けて活動をしており、今回のコロナ禍で、多くの企業や専門家の方々から就労・起業支援の提供について申し出をいただきました。グラミン日本が持つさまざまなサポーターの皆様との連携を通じて就労・起業による経済的自立支援を強化し、新型コロナ禍に苦しむ方々に寄り添いながら、「苦境からの脱出」と、「新しい生活の実現」に取り組んでいきます。

プロジェクト概要

名　　称	グラミン日本｜コロナで困窮する若者・ひとり親の未来を守る。
目標金額	1,000万円
公開期間	2020年8月14日（金）～11月11日（水）
形　　式	寄附型 / ALL-IN形式 ※ ※目標金額の達成の有無に関わらず、集まった寄附金を受け取ることができる形式です。
U　R　L	https://readyfor.jp/projects/grameen-nippon

ご支援いただいた高額寄付の皆様

500,000円　橘田　大輔　様
300,000円　鎌田　聖子　様
100,000円　望月　利昭　様
100,000円　刈田　圭子　様
100,000円　東　百合子　様
100,000円　若月　一郎　様
100,000円　河越　政人　様

資 金面での支援

団体
賛助会員
26社

これまでも多くの皆さまからご支援を頂きましたことに心より感謝申し上げます。より一層の事業拡大のため、皆さまのご厚情、ご支援をお願いする次第です。頂きました貴重なご支援は、グラミン日本の事業運営のために大切に、また有効に使わせて頂きます。

寄　付

オンラインで寄付を受け付けております。
ご寄付は主にグラミン日本の事業運営に充てられます。
以下のURLからマンスリーサポーターにお申込み頂けます。
https://congrant.com/credit/form?project_id=1952

基　金

基金はグラミン日本の資本金に充てられます。「ユヌス・ソーシャルビジネス7原則」に基づき、配当は行っておりません。事業利益は主にグラミン日本の事業を改善・拡大するために使用いたします。

賛助会員

賛助会員は、グラミン日本とともにエコシステムを形作る「アンバサダー」であり「パートナー」です。
会員区分に応じた特典をご提供します。

1. 団体賛助会員はグラミン日本のパートナー

団体賛助会員は、ともに事業の発展を目指す「パートナー」です。

2. プラチナパートナーは「事業共創パートナー」

「プラチナパートナー」（団体賛助会員プラチナ）の皆様は、グラミン日本ゴールドパートナーと連携して、本業で共通価値の創造を行うことを意図する企業等の事業共創パートナーです。
グラミン銀行は、ダノン様（フランス）、ユーグレナ様などの企業が協働による事業開発を行っていますが、グラミン日本では、日本国内の生活困窮者の自立に役立つ事業を考案し、実現することを目指します。まさにM. ポーターの主張する「共通価値の創造」を貧困削減という分野で形にしようというものです。

商品・サービスの開発	例：グラミン日本の顧客向け預金・共済／保険・投資信託、シングルマザー向け家事代行サービス等
ダイバーシティ支援	シングルマザー、LGBT、外国人等、多様な属性の人が楽しく働ける環境づくり支援
イベント開催	貧困ゼロに向けたチャリティ・啓発イベント、社会研修等
セーフティネット構築	社員が貧困に陥りそうになった時、貧困脱却を支援するサービスを提供

3. ゴールドパートナーは「就労・起業支援パートナー」

「ゴールドパートナー」（団体賛助会員ゴールド）の皆様は、生活困窮者の自立支援等に関与する企業、非営利組織等の就労・起業支援パートナ ーです。

シングルマザーへの就労・起業機会提供（フランチャイズ等）の連携

シングルマザーの自立を目指した伴走型支援や居場所の提供等の連携

4. シルバーパートナーは「グラミン日本の活動支援パートナー」

「シルバーパートナー」（団体賛助会員シルバー）の皆様は、
グラミン日本の活動に共感する企業、非営利組織等の活動支援パートナーです。

オンラインコミュニティ参加による双方向の情報提供による活動

ご入会方法

下記のEメールまでお問合せください。申込に必要な書類をお送りいたします。

Eメール：support@grameen.jp

● 原則メール申し込みとさせて頂いております。

（団体賛助会員の区分）

類　　型	募集対象等	会　　費
プラチナパートナー （団体賛助会員プラチナ）	事業共創パートナーとなる団体（グラミン日本、ゴールドパートナーと連携して、本業で共通価値の創造を行うことを意図する企業等を念頭）	年一口　1,000,000円
ゴールドパートナー （団体賛助会員ゴールド）	就労・起業支援パートナーとなる団体（生活困窮者の自立支援等に関与する企業、非営利組織等を念頭）	**営 利 団 体**　年一口100,000円（原則3口以上） **非営利団体**　年一口30,000円
シルバーパートナー （団体賛助会員シルバー）	グラミン日本の活動に関心のある（支援したい）企業、非営利組織等。	**営 利 団 体**　年一口30,000円（企業等） **非営利団体**　年一口12,000円

（特典比較）

	プラチナ	ゴールド	シルバー
活動報告（年次報告書の送付等）	○	○	○
グラミン日本HPや年次報告書等への掲載	○	○	○
主催イベント、交流会へのご招待	○	○	○
主催イベントにて団体名とロゴの掲示	○	○	○
オンラインコミュニティ参加と情報提供	○	○	○

	プラチナ	ゴールド	シルバー
就労・起業支援の提携 パートナーコミッティ（会員ネットワーク）提供	○	○	
事業共創支援、ビジネスマッチング	○		
主催イベントにおけるスポンサー枠提供	○		

Partners & Supporters

支援者・支援企業一覧

企業プロボノ支援 10社

フィーチャードパートナー

アクセンチュア株式会社

NPO特定非営利活動法人
イエロー・エンジェル

Water FinTech JAPAN株式会社

第一勧業信用組合

一般社団法人
日本シングルマザー支援協会

PwC Japanグループ

ブラックストーン・グループ・ジャパン株式会社

株式会社丸井グループ

三井不動産株式会社

日本労働者協同組合
ワーカーズコープ連合会

プラチナパートナー

株式会社ジモティー

株式会社スープストックトーキョー

みんな電力株式会社

UTグループ株式会社

株式会社Resta

ゴールドパートナー

株式会社キッズライン

元気でんき株式会社

ココネット株式会社

株式会社
セールスフォース・ドットコム

株式会社
セプテーニ・ホールディングス

一般社団法人
ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ

東京南ロータリークラブ

株式会社ファクト

株式会社フリーダム

公益財団法人
みんなの夢をかなえる会

株式会社METRA

ワイジェイFX株式会社

株式会社Luce

アニスピホールディングス

シルバーパートナー

おひさまエナジーステーション株式会社

株式会社船井総合研究所

株式会社ワークアカデミー

サポーター

マカイラ株式会社

株式会社meguri

※一部、お名前が確認できなかった方々につきましては掲載を割愛させて頂いております。お心当たりのある方はご連絡ください。

参加する

コアサポーター40人

グラミン日本では、今後の運営を誠心誠意サポートしてくださるプロボノやボランティアサポーターを募集しています。

例えば…

- プロボノやボランティアサポーターとして事業の企画運営
- グラミン日本主催の各種ワークショップやイベント等の準備と参加
- グラミン日本の活動をSNSなどで拡散、広報支援

プロボノ、ボランティアサポーターを通年募集しております。
詳しくは、以下のURLをご確認ください。

募集ページ　https://grameen.jp/pro-bono-and-skilled-volunteers/

サポーターの声

社会人として働きながら、困っている皆さまのために何か力になれることはないか、少しでもお力になれればと思い、参加しました。自分自身も、本業以外のコミュニティで多くの素敵な仲間たちとグラミン日本の運営に携わることができ、貴重な経験をさせていただいています。グラミン日本に出会って救われる方が少しでも増えますように、これからも社会課題の解決を目指し、事務局から微力ながらサポートを続けていきたいと思います。

稲畑 由紀　事務局

平野 和希　事務局

まだまだ一般的には認知度の低い日本の貧困に、他人ごとにならず、できることから行動していこうとボランティアとして参加しています。グラミン銀行という世界的なつながりに心強さを感じながら、日本の文化に寄り添ったかたちで「貧困」をなくしていきたい。日々ボランティアとして集う方々の多さと能力の高さに、こんなにも真剣にどうにかしようと動く人たちがいる!と嬉しく、グラミン日本が社会を変えることを確信しています。

困っている人の力になりたい。生活が困窮している人々の実態を知りたい。そんな想いでグラミン日本に参加しました。グラミン日本では，広告会社であるセプテーニのプロボノの方と協業して，HPやSNSでの情報発信を担当しております。セプテーニとの協業の中で，web広告に関する知識や知見を得られたのはもちろん，複数組織をまたがる仕事の進め方といったポータブルスキルを身に付けることができました。組織の足りない部分を、時間をかけることで補えるという点で，学生ならではの価値提供ができていると感じています。HP担当の社会人が本業の多忙により稼働できないという状況で，私はHP作成ツールを「0から」学び，今ではページを管理しております。今後は，HPやSNSでの発信を通して，グラミンに共感する若者を増やしていきたいと思います。

石黒 裕暉 学生インターン

三浦 幸菜 学生インターン

海外大学留学をきっかけに人の本当の幸せを考えるようになりました。そんな中で自分のやりたいこと、夢を誰でも追うことができる“貧困のない、誰もが活き活きと生きられる社会”作りを目指しているグラミン日本の思いに賛同し、参加を決めました。学生ボランティアは、特に様々な人に出会うことができ、その考えに触れることができるのでとても貴重な経験を得られると思います。今後、グラミン日本の思いに賛同してくれる仲間が増え、一緒に活動できることを楽しみにしています。

グラミン日本でインターンシップを始めた理由は深刻化する貧困問題、格差問題の解決に貢献したいと考えたためです。私は貧困や格差のない社会こそが本当の平和だと信じています。グラミン銀行の創設者ムハマド・ユヌス博士がこのような社会を実現できるという可能性を我々に示してくださいました。私はグラミン日本での活動を通して、生活に恵まれていない人々や夢を追いかけている人々の一番の味方になり、彼らと共に明るい未来を歩んで行きたいと考えております。

張 子安 学生インターン

北川 紫乃 学生インターン

ムハマド・ユヌス博士の著書「貧困のない世界を創る」を読み、グラミン銀行の仕組みに共感したことから、学生インターンとして活動に参加しています。
日本は一見、裕福な国ですがその中で格差が拡大しており相対的貧困者の数も急増しているという現実を知りました。社会的に困窮している方々のためのサポートをすることで明るい日本の未来を創っていきたいです。グラミン日本の取り組みが多くの方に届くように精進して参ります。

私は社会に貢献したいという思いから、グラミン日本に参加しました。実際にグラミン日本では、参加されている皆さんが、より良い社会にしたいという強い信念を持って活動されています。そんなグラミン日本での日々の活動から学ぶことはとても多く、貧困問題をはじめとした様々な社会問題が、他人事ではないということを強く実感しました。より良い社会を作るため、今後もグラミン日本での活動に取り組んでいきたいです。

鈴木 信也 学生インターン

陳 又禎 学生インターン

大学院でマイクロファイナンスを中心に研究活動を行った際に菅会長の本を拝読し、グラミン日本をもっと知りたいと思いボランティアに参加しました。グラミン日本では各業界の専門家が一丸となって、普段目に見えない人々のニーズに真摯に向き合って活動している組織だと感じました。グラミン過去展開した地域と違い、日本の社会に適するアプローチを模索するのが大きなチャレンジですが、私はグラミン日本の支援、ボランティアメンバーの思いはそれを乗り越え、より多くの人々に届くと信じています。

阿部 淳一 融資事業

小企業金融やマイクロファイナンスの知識を生かせる、社会への恩返しができる、そして人生後半の指針が何かしら見つかる、そのような思いを抱きつつ、創設前から参画しています。業務の具体化作業や利用メンバーとの交流、各種イベントへの参加など極めて有意義な機会を得てきました。コロナ禍による時間的制約から、このところ「点」での参加が精一杯になっていますが、さらに継続して貢献できれば幸いです。

関野 太郎 融資事業

私は愛知県で活動しています。元々貧困家庭の子どもの支援をしてきましたが、橋本卓典さんの『金融排除』でグラミン日本を知り、親世代の生活困窮状態を解決したいとの思いから、ボランティアメンバーとして参加しました。コロナ禍で生活困窮者が増加する中、愛知県でも態勢を拡充して連携団体を増やし、“Fast alone, Far together!”の精神で、仲間と共に1人でも多くの方を支援していこうと思っています。

渡辺 光亮 融資事業

生活困窮者支援の学習会でグラミンを知り、お手伝いをさせて頂いております。コミュニティソーシャルワーカーの立場として、福祉現場と経済・金融資源との連携協働のお役に立てればと存じます。可能性あふれるグラミン日本の活動を通じて、困りごとの分け合える社会の実現を目指しています。業界をこえて、さあご一緒に!

山口 聖子 融資事業

20代の頃、人材業界で幅広い層の転職を支援していました。給与や職種で仕事を選ぶ人が大半で、本当にやりたいことを仕事にしている人はほんの僅かでした。あれから20年、当時に比べ自ら仕事を創り出すことが容易な時代になったにも関わらず、お金がないことで夢を諦めている人が多くいることに悶々としていました。そんな中、グラミンの存在を知り、是非ともボランティアとして応援したいと思い、参画を決めました。

太田 智 会員事業

学生時代にネパールで貧困問題に直面し、この問題と対峙していきたいという想いがありました。その中で日本での貧困問題の実情を知り、2019年夏頃よりグラミン日本でのボランティアとしてサポートすることにしました。「人に魚を与えれば一日で食べてしまうが、釣り方を教えれば一生食べていける」という言葉をモットーとしており、この団体を通してより経済的自立を支援できるような仕組みづくりを作っていきたいと思っております。

三上 幸司 会員事業(IT戦略)

百野理事長より「ITの力でグラミン日本の活動を盛り上げていってほしい」というご依頼がきっかけでIBMプロボノチーム有志のみなさんと参画しています。よりたくさんのSDGs目標達成に貢献するソーシャルビジネスの開発や、ユヌス博士の提唱する「新しい経済システム」の実現に向け、グラミンモデルを日本で展開するグラミン日本から、世界のグラミングループが繋がる取り組みを発信していきます。

上木 恒宏 内部監査

グラミンに関するニュースや著作を見て、興味を持ち、初めてボランティアに参加しましたが、多くの思いを同じくする方々に温かく迎え入れていただき、新しい発見も多く、非常に貴重な体験をすることができ、感謝しています。まだまだ新しいチームですので、多くのメンバーの助けを必要としています。得意な分野を生かし合いながら、チームで一歩一歩進んでいきたいと思います。

吉田 美穂 広報

子ども向けの雑誌・書籍の編集の仕事をしています。雑誌の取材を通じてグラミン銀行、そしてグラミン日本の立ち上げを知り、メンバーの皆さんの熱い想いに心を打たれました。金融の世界は難しいカタカナがたくさん。私のように金融に疎い人でもわかりやすいツールづくりのお手伝いができたらと、参加させていただきました。あらゆる分野のボランティアメンバーが集まるグラミン日本はとても刺激的で、多くの学びをいただいています。

石井 寛子 マーケティング

日本の金融等制度は弱者には優しくないと感じており、弱者にも優しい金融に取り組みたいと考えていたところグラミン日本に出会いました。サポーターとしての、本業だけは出会えない意欲ある仲間との活動は、何ものにも代えがたい経験となっています。グラミン日本によって諦めない人生を送れる人が増えていくことを願っています。

ボランティアの仲間たち

阿部 淳一	鵜飼 眞弘	笠原 けい子	河野 亜莉	杉本 紗世	中山 和之	平野 和希	三上 幸司	山崎 健太朗
石井 寛子	大泉 豊	加勢 未来	後藤 元気	関野 太郎	西山 由貴	深草 稔	御任 李成	山田 浩貴
泉 裕子	太田 智	加藤 総	佐久 間香	関 弾	野中 祐希	星 和宏	森信 香織	横治 明彦
伊藤 雅彦	大山 遼	金子 郁代	佐竹 城	髙橋 歌織	林 由香	本田 奈織	薮田 匡史	吉田 美穂
伊藤 晃三	岡野 真由美	鎌田 聖子	下谷 有希	高道 範武	東出 忠昌	松尾 英治	山上 洋平	渡辺 光亮
稲畑 由紀	影山 渓	川島 瑛里子	上木 恒宏	田村 有	平尾 真大	眞辺 義明	山口 聖子	

企業プロボノの声

Skill to Succeed（スキルによる発展）を目指すアクセンチュアのプロボノとして、主にLINEのチャットボット企画・開発に携わらせていただきました。貧困に困っている方に対して、お金や物資の支援ではなく、融資を通して自立に向けたサポートをされているグラミン日本の取り組みは、もっと多くの方に知ってもらうべきだと感じております。その一助として、チャットボットがお役に立ち、グラミン日本に興味を持ってくださる方が増えることを心から願っております。

アクセンチュア株式会社　中村 智幸

Skill to Succeed（スキルによる発展）を目指すアクセンチュアのプロボノ支援の一環で参画しています。起業のワークショップやLINEのチャットボット企画の中で、グラミンの融資を受けて起業したメンバーから企画へのフィードバックをもらったことや、本業では関わることのない学生ボランティアや他の支援企業の方と共に活動ができたことは、私自身の価値観や貧困問題への意識を変えるような貴重な経験になりました。グラミン日本と共に私自身も成長しながら、一人でも多くの受益者の方に支援を届ける活動に取り組んでいきます。

アクセンチュア株式会社　岩橋 美希

ブラックストーン・グループ・ジャパンの一員として、弊社グループの慈善財団を通じてグラミン日本の支援に携わる機会をいただきました。私自身、20代の頃ワーキング・プアでしたが、周囲の方に助けられ、チャンスをもらい、脱することができました。日本には「恥の文化」があり、「自己責任」という言葉も重くのしかかり、困窮に陥っても助けを求めづらい社会の側面があります。グラミン日本の活動が今後も益々広がり、誰もが活き活きと暮らせる社会に近づくことを願っています。

ブラックストーン・グループ・ジャパン株式会社　川添 麻紀子

米国のような先進国においても移民や難民の自立を支えたグラミンモデルが日本に展開されていると初めて知った時、在日外国人として生まれ「お金に困る」ことの怖さを身近に育った私は素直に驚きと感動を抱きました。学生時代にグラミン銀行が金融包摂というビジネスの力で社会課題の解決に挑戦する可能性に大いに魅せられた者の一人として、グラミン日本の就労支援やコレクティブインパクトの構築に貢献していきます。

デロイトトーマツコンサルティング合同会社 金 辰泰（グラミン日本顧問）

グラミン日本様と出会い、所与の理由で経済的困窮・心理的孤立という状態に置かれている方々も含めた、社会全体のエンパワーメントとインクルージョンの姿勢が必要だと改めて認識しました。自分の中の使命感と熱意をもって、事業活動に参画させていただいています。グラミン日本と共に、企業・自治体・アカデミア様々な連携を生み出し、日本社会のダイバーシティ&インクルージョンをさらに深いレベルに深化させていきます。

デロイトトーマツコンサルティング合同会社 児玉 都（グラミン日本顧問）

大学で福祉政策を学び、その後も支援を必要とする人や支援に尽力されている人とかかわるなかで、ご本人たちだけでなく、法律や制度、社会構造、私たち1人ひとりが持つ「無理解・無関心」が多層的に折り重なっていることが問題なのだと感じていました。広報・アドボカシー活動としてグラミン日本に携わることで、こうした状況を変え、「みんなで取り組んでいく(Far together)」環境を整えたいと考えています。

株式会社オズマピーアール　佐藤 剛

社会課題の解決やサステナビリティの実現には、行政、企業、NPOなどが枠を越え、それぞれの強みや資産を生かしながら、社会的価値の創出と経済合理性を両立させる「コレクティブ・インパクト・アプローチ」が重要です。PwCコンサルティングのプロボノチームとして、グラミン日本や他企業とともに貧困問題の解決に取り組み、社会により大きなインパクトを創出していきたいと考えています。

PwCコンサルティング合同会社　間世田 豪

社会貢献には高い関心があり、社内プロボノの募集を見て「これだ」とすぐに参加を決めました。
実際に参加してみると、NPO活動の幅広さ、起業を目指す方々の熱意など、感銘をうける事が多く、微力ながらご支援できたのは大変得難い経験でした。1年弱と短い期間でしたが、様々な方と出会い、多くを学び、自分自身も成長したように思います。
これからグラミン日本を通じて、多くの方が夢を実現し成功されることを期待しています。

SMBC日興証券株式会社　加藤 かおる

本業の証券会社での仕事以外に何か社会貢献ができないかと考えていた時期に、私自身母子家庭で育ったこともあってグラミン日本の活動に強く共感し、その活動を世に知ってもらうための事業報告書などの作成に参画しました。
日本の貧困問題解決に熱い想いを持った運営メンバーと前向きな議論を交わしながら、自身が貢献するだけでなく、本業では得られない学びや気づきがあり貴重な経験ができました。今後もグラミン日本で支援や幸せの輪が広がっていくことを信じています!

SMBC日興証券株式会社　河野 諒

セプテーニでクリエイティブディレクターをしています。クリエイティブの力で世の中を良くしたいと漠然と思っていたことに加え、グラミンの理念に共感したこともあり、お手伝いさせていただくことにしました。自分の専門知識を活かし、WEBサイトの制作を担当しています。一人一人の小さな支援の輪が広がって、今よりもほんの少しでも良い社会になればいいなと思っています。

Septeni Japan株式会社　中澤 綾乃

既存のビジネスの枠組みにとらわれず、時代に必要とされる新たな価値を生み出していくグラミンの理念と実行力に共感し、マーケティング支援の役割で参加いたしました。グラミンを支える企業プロボノや学生インターンとともに、SNSやWEBサイトでの発信している中で、当事者や支援者の圧倒的な熱量に触れ、日々刺激を受けています。コミュニティ形成とグローバルクオリティサービスの両軸で、グラミン日本が創り出す未来に期待しています。#わたしたちの未来への先行投資

Septeni Japan株式会社　菅原 史哉

財務状況

貸借対照表

2020年9月30日現在

（単位：円、税抜）

科　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	17,333,377	19,640,292	-2,306,915
前払費用	572,193	702,926	-130,733
未収消費税	750	1,210	-460
短期貸付金	310,715	131,701	179,014
流動資産合計	18,217,035	20,476,129	-2,259,094
2. 固定資産			
（1）その他の固定資産			
助成金（指定）	2,000,000	-	2,000,000
特定資産合計	2,000,000	-	2,000,000
（2）その他の固定資産			
建物附属設備	-	1,139,089	-1,139,089
一括償却資産	60,668	293,243	-232,575
敷金	1,439,272	3,817,308	-2,378,036
長期前払費用	42,699	20,699	22,668
その他固定資産合計	1,542,639	5,269,671	-3,727,032
固定資産合計	3,542,639	5,269,671	-1,727,032
資産合計	21,759,674	25,745,800	-3,986,126
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,533,688	917,984	615,704
未払費用	95,746	74,797	20,949
未払法人税等	70,000	-	70,000
前受金	1,000,000	3,972,000	-2,972,000
預り金	-	20,880	-20,880
流動負債合計	2,699,434	4,985,661	-2,286,227
負債合計	2,699,434	4,985,661	-2,286,227
Ⅲ. 正味財産の部			
1. 基金	16,020,000	16,020,000	-
2. 指定正味財産	2,000,000	-	2,000,000
（うち特定資産への充当額）	-10,079,680	-	-10,079,680
3. 一般正味財産	1,040,240	4,740,139	-3,699,899
正味財産合計	19,060,240	20,740,139	-1,699,899
負債及び正味財産合計	21,759,674	25,745,800	-3,986,126

正味財産変動計算書

2019年10月1日から2020年9月30日まで

科　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
（1）経常収益	18,562,900	16,431,321	2,131,579
受取会費	8,320,000	11,620,000	-3,300,000
事業収益	21,688	147,136	-125,448
受取寄付金	141,358	4,664,000	-4,522,642
受取補助金等	10,079,680	-	10,079,680
雑収益	174	185	-11
（2）経常費用	21,790,216	20,526,537	1,263,679
事業費用	9,369, 227	7,912,450	1,456,777
管理費用	12,420,989	12,614,087	-193,098
当期経常増減額	-3,227,316	-4,095,216	867,900
2. 経常外増減の部			
（1）経常収益	147,136	2,817	144,319
（2）経常費用	619,719	-	619,719
当期経常外増減額	-472,583	2,817	-476,400
当期一般正味財産増減額	-3,699,899	-4,092,399	392,500
一般正味財産期首残高	4,740,139	8,832,538	-4,092,399
一般正味財産期末残高	1,040,240	4,740,139	-3,699,899
Ⅱ. 指定正味財産増減の部			
受取助成金	12,079,680	-	12,079,680
一般正味財産への振替額（助成金）	-10,079,680	-	-10,079,680
当期指定正味財産増減額	2,000,000	-	2,000,000
指定正味財産期 首残高	-	-	-
指定正味財産期末残高	2,000,000	-	2,000,000
Ⅲ. 基金増減の部			
基金期首残高	16,020,000	6,000,000	10,020,000
基金受入額	-	10,020,000	-10,020,000
基金期末残高	16,020,000	16,020,000	-
Ⅳ. 正味財産期末残高	19,060,240	20,760,139	-1,699,899

メディア掲載情報

2019/10〜2020/9

「ムハマド・ユヌス
「人は生まれながらにして起業家だ 今こそソーシャルビジネスを」」
朝日新聞GLOBE+（2020年7月15日）

「ノーベル平和賞のユヌス氏「利己的で利他的な人類に」」
日本経済新聞（2020年6月28日）

「誤った世界に戻すな。経済を再構築しよう。ムハマド・ユヌス氏（経済学者）」
毎日新聞（2020年5月12日）

「SDGs起業家たち（7）「貧困目の前に」起業支援 日本版グラミン銀で融資」
日本経済新聞（2020年3月18日）

「貧困は目の前にも 日本版グラミン銀行で起業支援」
日本経済新聞（2020年3月8日）

「応援し合い、助け合うコミュニティの場に。
日本初のマイクロファイナンス、グラミン日本の挑戦」
IDEAS FOR GOOD（2020年2月27日）

「日本橋でSDGsと社会貢献考えるフォーラム
ムハマド・ユヌス博士らが講演」
日本橋経済新聞（2019年11月29日）

沿　革

2017年	2月	● グラミン銀行創設者 ムハマド・ユヌス博士が講演のため来日。 菅正広教授（明治学院大学大学院）とグラミン日本設立について合意。
	8月	● 一般社団法人グラミン日本準備機構設立（理事長・菅正広）
2018年	5月	● クラウドファンディングにより1,000万円以上の資金を調達
	8月	● 貸金業登録交付（東京都）
	9月	● 一般社団法人グラミン日本設立、事業開始
2019年	1月	● グラミン日本 SDGs コンソーシアム 開催
	3月	● 日本シングルマザー支援協会主催の合同セミナー「協会プレグラミン」を開始
	4月	● 第1号融資（IT 資格学校授業料として）
		● 第2回グラミン日本 SDGs コンソーシアム 開催
	9月	● 設立一周年。支援者にグラミン日本1周年を報告
	10月	● 役員改選。菅 正広 理事長が会長に 、百野 公裕 理事が理事長に就任
		● TEDxNihonbashiにて、菅会長がプレゼンターとして登壇。
	11月	● ユヌス博士来日イベント「ソーシャル・ビジネス・フォーラム2019」にて、兒玉理事が登壇。
		● ユヌス博士来日イベント「Japan Action Tank Forum 2019」にて、菅会長が登壇。
	12月	● 日本シングルマザー支援協会との 協働プログラム「プレグラミン」から初の5人組がグラミン日本で始動。
2020年	1月	● ベビーシッター・家事代行サービスを運営する株式会社キッズラインとの コラボ企画「新しい働き方セミナー」が開始。毎月2回継続実施。
		● 明治大学商学部小川ゼミ27期生との対話とプレゼン発表会を開催。
		● PwC社との協働プログラム「事業共創ワーキンググループ（WG）」がキックオフ。
		● PwC社との協働プログラム「事業共創ワークショップ」を開始。
	5月	● Accenture社との協働プログラム 「起業・就業支援オンラインワークショップ」のパイロットを開始。
	6月	● 事務所移転。
		● 広島県後援「2020世界平和経済人会議ひろしま東京セッション」にて、百野理事長が登壇。
	8月	● READYFORクラウドファンディング 「グラミン日本｜コロナで困窮する若者・ひとり親の未来を守る。」を開始。
		● 第3期アニュアルレポートを発行。

会社概要

団体名	一般社団法人　グラミン日本
所在地	〒〒103-0023東京都中央区日本橋本町一丁目3番2号 山﨑ビル1階
電話番号	03-3516-2890
登録番号	東京都知事(T1)第31700号　日本貸金業協会会員 第006047号
HP	https://grameen.jp/

名誉会長	ムハマド・ユヌス博士	監事	大倉 然
会長	菅 正広	顧問	根本 剛史
理事長	百野 公裕	顧問	江成 道子
理事	白瀧 征人	顧問	宇佐美 潤祐
理事	兒玉 久実		
理事	シェーファー・平ダーヴィッド		

[アドバイザリーボード]

青井　浩	株式会社丸井グループ代表取締役社長
榮川 和広	弁護士
神永　晉	元住友精密工業株式会社代表取締役社長
北原 義一	三井不動産株式会社代表取締役副社長
佐藤 慎一	第一生命経済研究所特別顧問、元財務省財務事務次官
鈴木 敦子	NPO法人ETIC.理事兼事務局長
中内　綾	一般社団法人アフリカ協会理事
中村 誠司	中央電力株式会社取締役会長
丹羽 恵久	ボストン・コンサルティング・グループManaging Director & Partner
原　丈人	アライアンス・フォーラム代表理事、デフタパートナーズグループ会長
藤沢 久美	シンクタンク・ソフィアバンク代表
古村 伸宏	日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会理事長
安井 正樹	PwCコンサルティング合同会社 パートナー、一般財団法人PwC財団代表理事

【2020年9月30日現在】（あいうえお順、敬称略）

What is Grameen?

グラミンとは？

グラミン銀行は、1983年にムハマド・ユヌス博士によりバングラデシュで創立されたマイクロファイナンス機関です。

貧困や生活に困窮する人々に低金利・無担保で少額融資を行い、貧困脱却・生活自立の支援をしています。設立以来延べ930万人（うち、97%が女性）の貧困層に総額総額304億ドル（約3兆1,920億円）の融資を行い、返済率99.2%という驚異の実績を誇ります。（2020年6月現在）

―1989年―
世界に広がるグラミンの輪

1989年には、グラミン銀行のマイクロファイナンスモデルを世界中に広め貧困撲滅を目指す非営利組織「グラミン・トラスト」を設立。延べ40ヵ国においてグラミンのアプローチの導入支援をしています。

―2006年―
ノーベル平和賞を受賞

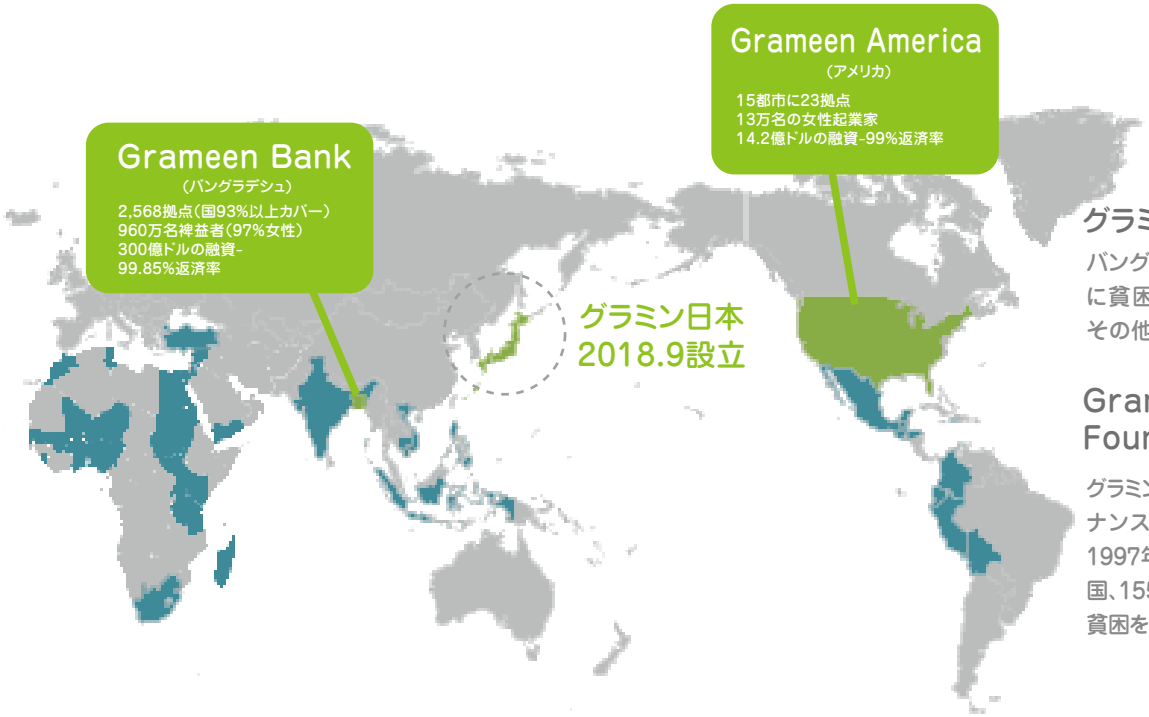
貧困脱却支援の功績が認められ、グラミン銀行とユヌス博士はノーベル平和賞を受賞しました。

―2008年―
「グラミン・アメリカ」設立

米国に設立された「グラミン・アメリカ」では、銀行から融資を受けられない貧困状態の女性に総額総額[10]億ドル（約[1,100]億円）の融資を行い、13万件の雇用を創り出すなど、先進国においてもグラミンモデルが貧困削減に大きな効果を上げることを示しました。

―2018年―
「グラミン日本」発足

2017年のユヌス博士来日時、明治学院大学大学院 菅正広教授と合意したことを受け、2018年に「グラミン日本」が設立されました。グラミン日本は、同じく先進国であるグラミン・アメリカの成功例をもとに、貧困・困窮状態の方々へのマイクロファイナンスを行っております。



グラミン銀行

バングラデシュ・米国を中心に貧困者支援実績を残し、その他国への横展開中

Grameen Foundation

グラミン銀行のマイクロファイナンス理念を拡大するため1997年に設立4大地域、40ヵ国、155の協力組織と連携し、貧困をなくす支援を注力

グラミン日本は、ユヌス博士が提唱する
ユヌス・ソーシャルビジネス7原則に
基づいて設立・運営されています。

ユヌス・ソーシャルビジネス7原則

1. 利益の最大化ではなく、社会問題の解決こそが目的であること
2. 財務的に持続可能であること
3. 投資家は投資額を回収するが、それ以上の配当は分配されないこと
4. 投資額以上の利益はソーシャルビジネスの拡大や改善のために使うこと
5. 環境へ配慮すること
6. スタッフは標準以上の労働条件・給料を得ること
7. 楽しみながら仕事をすること

Messages from CEO

ごあいさつ

グラミン日本理事長　百野 公裕
Masahiro Momono

米国公認会計士。外資系コンサルティングファーム PwC、プロティビティ(旧アーサーアンダーセン)マネージング・ディレクターを経て、2018年9月にグラミン日本理事/COO、2019年10月より現職。

一般社団法人グラミン日本にご支援をいただき、誠にありがとうございます。
2020年は未曾有のコロナ渦により当然と考えていたことが当然でなくなり、変化を余儀なくされる１年でした。そしてグラミン日本の重要性を改めて痛感する年でもありました。
さて、グラミン日本の融資事業は、「2023年までに、困窮するひとり親および若者1,000人を２つの支援策（起業支援、就労支援）を通じて、年収300万円以上稼げるようにすること、うち女性比率が50％以上であること」を目標としていますが、2021年度については、1,000人の起業・就労トレーニング、100人の融資実行を目指してまいります。
その目標を達成するために、2021年度は「今の生活を安定させる手助けをすること。」そして、「将来を見据えた起業による自立を支援していくこと。」の両軸で事業を進めてまいります。
具体的には、既存のマイクロファイナンスや互助グループ形成の知見をベースに、サポート企業とのネットワークも活用し、就労・起業に向けたモチベーション・スキル形成から金融教育、就労先の開拓・就労定着まで一気通貫でオンラインを活用した支援策を展開していく予定にしております。
グラミン日本のスローガンFast Alone, Far Together!
―早く行きたいならひとりで行け、遠くへ行きたいならみんなで行こう―
アフリカのことわざのひとつなのですが、わたしはこの言葉が大好きです。グラミンに共感し、グラミンにより世の中を変えたいと思っている多種多様な皆さんと一緒に、グラミンの支援の輪を広げ、あらゆる方が生きやすい社会に向けて貢献できればと思っています。
コロナ渦の中で、2021年はさらにグラミンの支援を必要とする人たちが多くなると予測され、昨年以上に皆様のご支援が必要になるかと考えております。引き続きのご支援を賜ることが出来れば幸いです。

一般社団法人 グラミン日本
https://grameen.jp/